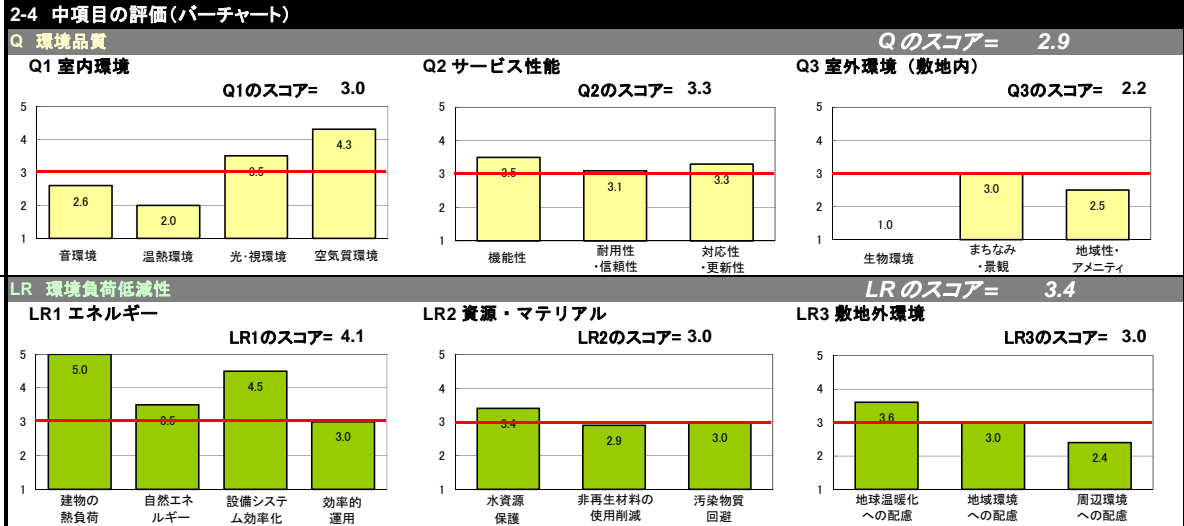
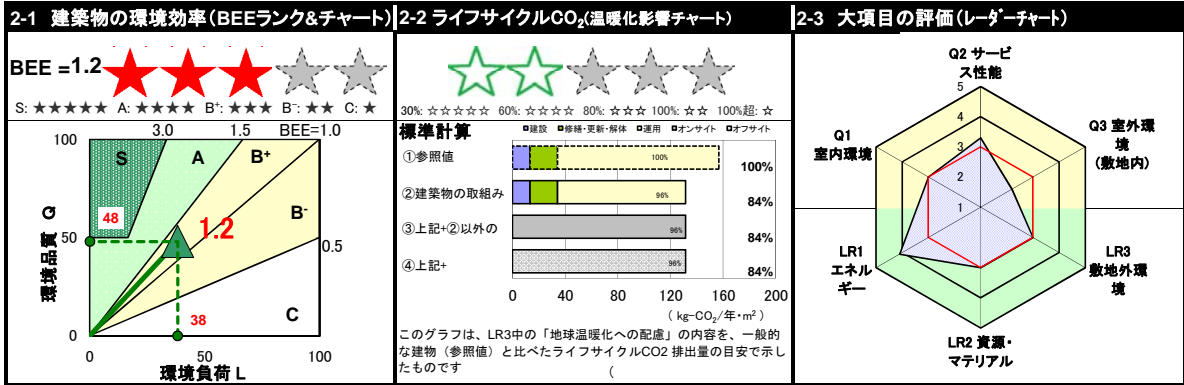


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西知多リハビリテーション病院	階数	地上3F
建設地	愛知県知多市岡田字野崎10-1他10	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	236 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,920 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年4月 予定	評価の実施日	2014年4月1日
敷地面積	7,190.54 m <sup>2</sup>	作成者	中日設計 清谷太一
建築面積	2,278.08 m <sup>2</sup>	確認日	2014年6月20日
延床面積	4,725.52 m <sup>2</sup>	確認者	中日設計 清谷太一



### 3 重点項目

①地球温暖化への配慮	3.6		③敷地内の緑化	1.0	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	7.4 %
					建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
②資源の有効活用	3.0		④地域材の活用	1.0	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし
					<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$



スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	果独自基準	重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>								<b>2.6</b>
1.1 騒音								0.40
1 室内騒音レベル								3.0
2 設備騒音対策								1.00
1.2 遮音								0.40
1 開口部遮音性能								3.0
2 界壁遮音性能								0.40
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								0.20
1.3 吸音								0.20
2 温熱環境								2.0
2.1 室温制御								0.50
1 室温								3.0
2 負荷変動・遠従制御性								0.38
3 外皮性能								3.0
4 ゾーン別制御性								0.25
5 温度・湿度制御								3.0
6 個別制御								0.38
7 時間外空調に対する配慮								-
8 監視システム								-
2.2 湿度制御								1.0
2.3 空調方式								0.20
3 光・視環境								2.0
3.1 昼光利用								0.25
1 昼光率				病室の昼光率8.7%				3.5
2 方位別開口								0.30
3 昼光利用設備								4.2
3.2 グレア対策								0.30
1 照明器具のグレア								3.0
2 昼光制御								0.60
3 熱い込み対策								3.0
3.3 照度								0.40
3.4 照明制御				洗面・ベッドでの点灯範囲分け、ベッド単位の点灯				3.0
4 空気質環境								1.00
4.1 発生源対策								4.4
1 化学汚染物質				F☆☆☆☆建材を使用				0.25
2 アスベスト対策								5.0
3 タニカヒ等								0.50
4 レンゾネラ対策								5.0
4.2 換気								1.00
1 換気量								3.0
2 自然換気性能								0.30
3 取り入れ外気への配慮								3.0
4 結露計算								0.50
4.3 運用管理								0.20
1 CO <sub>2</sub> の監視								5.0
2 喫煙の制御				施設内禁煙				1.00
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>								<b>3.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ								0.40
1 広さ・収納性				個室23.15㎡ 2床室20.50㎡ 4床室37.50㎡				4.0
2 高度情報通信設備対応								5.0
3 バリアフリー計画				人にやさしい街づくり条例、バリアフリー法に適合				1.00
1.2 心理性・快適性								3.0
1 広さ感・景観				病室天井高さ2.6m				0.30
2 リフレッシュスペース								3.5
3 内装計画								0.40
1.3 維持管理								0.50
1 維持管理に配慮した設計								3.0
2 維持管理用機能の確保								0.30
3 衛生管理業務								0.50
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震								0.31
1 耐震性								3.0
2 免震・制振性能								0.48
2.2 部品・部材の耐用年数								3.0
1 躯体材料の耐用年数								0.20
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								3.3
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								0.33
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								3.0
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				給水HIVP、排水VP、消火SGP白				0.23
6 主要設備機器の更新必要間隔								3.0

2.4 信頼性				3.4	0.19			
1	空調・換気設備			3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20			
3	電気設備		②	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20			
5	通信・情報設備			4.0	0.20			
3 対応性・更新性				3.3	0.29	3.6	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり				4.2	0.31	4.2	0.50	
1	階高のゆとり			5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				2.8	0.38			
1	空調配管の更新性		②	2.0	0.17			
2	給排水管の更新性			3.0	0.17			
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			
4	通信配線の更新性			3.0	0.11			
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			
6	バックアップスペース			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出		●	③	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		●	④	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	●	④	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制				5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用			4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化				4.5	0.30	-	-	4.5
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				4.5				
集合住宅の評価				3.9				
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水			4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.63	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●	②	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組	●		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			①	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	●		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	●		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	●		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音	●		3.0	0.33	-	-	
2	振動	●		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制				1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.0</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 1階は、受付・診察・リハビリとスタッフゾーンで明確にゾーニングをし、2階は東西南面に病室を配置し室内環境に配慮し、3階は屋外部分をリハビリ訓練のスペースを設け、リハビリ訓練の充実を図っています。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 内装は明るく、病院施設と感ぜさせない居住性に配慮したデザインとしています。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 非常用発電機、キュービクルを屋上に設置、浸水の危険性を避けるよう配慮しています。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 極力、一般利用・スタッフ利用共に駐車台数を確保し、利便性に配慮しています。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 コージェネシステムを導入しています。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 床・壁・天井・建具等の建材、接着剤は全てF☆☆☆☆を使用し、安全な室内環境となるよう配慮しています。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 屋上緑化による敷地周辺への環境負荷抑制に配慮しています。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。